

# あかいろぼうしぐみ

2020. 10. 23

## ☆げんきもりもりうんどうかい☆

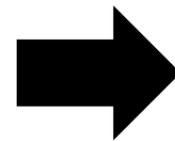
竹渡り、マットのお山ジャンプ、机2段ジャンプ色々なことができるようになったよ！

そこからこどもたちと話し合い「忍者」あそびになりました☆

雨の日や暑すぎて外に出られない日など6月、7月頃からたくさん身体を動かす遊びを行ってきました。ホールで保育者と一緒に忍者になりきり、保育者の後について歩き、保育者が「そろりそろり・・・だれだ?!」と振り向いたら止まる〈だるまさんがころんだの後についていくようなあそび〉を好んで行っていました。次第に「だれだ?!」と言って振り向くと色々なポーズで止まるようになったので、「石」「水たまり」「木」などと保育者が言いながら、そのものになりきって止まるあそびへと発展していきました。運動会でも保育者の声に合わせてしゃがんだり、片足立ちをしたり、伏せたりしてポーズをとりました。



竹渡り、ジャンプは、最初は少し怖いと言って保育者や友だちの手を借りながら竹を渡ったり、机からジャンプをしたりしていたこどもたちでしたが、何度もあそんでいくうちに一人でできることが自信になっていきました。「手、いらないよ」と言って支えなくてもできることを教えてくれたり、飛ぶときには必ず「見ていてね！」と生き生きとした表情でジャンプしたりするようになりました。例年だと3歳の競技はダンスと障害物のように2種あるのですが、今年の運動会は感染防止の観点から短縮で行うことになり、3歳の競技も1つになりました。何がやりたいか聞くと、みんなが口をそろえて「忍者！！」といていたので、ホールで行っていた忍者遊びや「しゅりけんにんじゃ」の踊りと机2段ジャンプを組み合わせる1つの競技としてみんなの前で発表することになりました。ジャンプするとき何も言わずすぐにジャンプする子もいれば、時間をかけて飛ぶ子、かっこつけて「とうっ！」「しゅしゅっ！」という子「変身！ちょうちょ〜」なんて言って飛ぶものになっている子もいて飛び降り方も様々で可愛かったです。



## 旗作り～赤いもの何があるかな？～

今年は両面、保育園で作りました。片面は好きな絵をクレヨンで描き絵の具を上から塗ってはじき絵を行いました。もう片面は、自分の顔を描きました。顔の周りは、「赤いもの何があるかな？」と聞きながらその子が思い浮かべたものを一緒に作りました。思い浮かばない子には、絵で描いた赤いものを一緒に見ながらどれがいいか選んでもらって作りました。りんご、いちご、とまと、にんじん、とうがらし、車、ジュースなど思い思いの赤いものが出てきました。折り紙で一生懸命折ったり、ハサミを使って線の上を一生懸命切って形を作ったりして、のりで貼りました。

日頃からハサミで切れ端などを切ってあそぶことが好きな子も多く、ハサミの扱い方も少しずつ上達し、1回切りから続け切り、直線の上を切ることや曲線の上を切ることができる子も増えてきて、線を描くとその上を自分で工夫しながら切っています。



一緒に成長を感じたいなと思い、メダルはこどもたちと作りました。

今年は、保護者の方に運動会に参加していただくことができず、こどもの成長と一緒に感じる機会が少なくなってしまうと思ったので、保育者からこどもたちへのサプライズではなく、表面は、こどもたちと一緒にメダル作りを楽しみました。こどもたちの成長を感じてもらえたら嬉しいな、お家に帰ってからも運動会の思い出話を親子でできたらいいなと思いながら、作りました。

見本を置いておいたのですが、お絵かきよりもパーツを貼りつけることの方が目や口を意識して作れるようで、「これ、目だよ！びっくりしているの」「口、大きくなっちゃった」「ひげみたい」などと言いながら好きな位置に好きな数珠やどんぐり、小枝、折り紙を貼りつけていました。できあがったものを見ると、小枝で髪の毛を作っていたり、どんぐりでほっぺたを作っていたり、それぞれ違った表情の1つだけのメダルになりました。運動会が終わった後、1人ずつ渡していくと、とても嬉しそうに友だちと見せ合っていましたよ。どことなく作った子に似ていてどれも可愛いかったです。



## 運動会はまだまだつづく？！

運動会はその日だけではありません。終わった後も、4、5歳の姿を見ながら真似をしてあそんでいきます。「走ろう」と外に出たこどもたちにどこを走るのか聞いたら、「白い線」「丸い線」と言って何週も走ってあそんでいました。新聞紙でこどもたちとバトンを作ると、大喜びで、僕も私も…と9個くらいのバトンができあがっていました。最初はコース関係なく好きにバトンを持って走っていましたが、それでも自分の中で1周すると必ず次の友だちに渡して、3歳児なりに4、5歳児の姿を良く見てルールを理解していたことを感じました。滑り台の後ろや鉄棒の後ろ、色々な所を走っては戻ってきて次の子に渡していく表情は笑顔が満ち溢れていました。バトンを友だちに渡しても別の友だちからすぐに次のバトンを渡されるのでいつまで経っても終わらないエンドレスリレーはまるでマラソンのように園庭中をぐるぐると何週も走り続けています。

